

平成30年度 秋田情報ビジネス専門学校 自己評価結果

1. 学園の教育方針

本学園の三綱領である「創造」「礼儀」「明朗」を教育理念の根幹におき、全教職員が一丸となり実践的技術教育及び資格取得教育を第一に考え、熱意ある授業を進め、質の高い教育、且つ、力のつく指導を行うことを教育方針とする。

2. 学校の教育目的

本校は、教育基本法および学校教育法に従い、高等学校における教育の基礎の上に、職業若しくは実生活に必要な技能と教養の向上を図るため、工業および商業実務に関する専門的な教育を行い、社会の発展に貢献できる人材を育成することを目的とする。

本校は大学との通学通信併修制度を設けており、このコース在籍者は専門学校と大学を同時に卒業することができる。専門学校の資格指導教育と大学の専門教育との融合によるW入学制度は、平成10年より21年間実践しており、企業のニーズに即応出来る人材教育を目標に据えている。

3. 自己評価の段階

4…適切 / 3…ほぼ適切 / 2…やや不適切 / 1…不適切

4. 自己評価結果並びに今後の活用等について

平成30年度の自己評価は、次の通りの結果となりました。
また、評価結果の活用等については、全教職員へ報告を行うとともに、情報や課題の共有を計り、色々な面から分析し、取り組むべき課題等を明確化し、今後、更に充実した学校運営のため活用を図っていきたいと考えています。

(1) 教育理念・目標

	評価項目	評価
1	学校の教育理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校における職業教育の特色があるか	4
3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
4	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

(2) 学校運営

	評価項目	評価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	校務分掌の組織は教職員に明示され、きちんと機能し効率的なものになっているか。	4
4	教育活動等に関する情報公開は適切になされているか	4
5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

(3) 教育活動

	評価項目	評価
1	学校の教育理念、各学科の教育目標に沿った教育課程の編成がなされているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	授業の目標に対して、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか	4
4	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
6	授業評価の実施・評価体制は整っているか	4
7	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
8	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
9	目標資格の内容・取得意義を明確化しているか	4

(4) 学修成果

	評価項目	評価
1	就職率の向上が図られているか	4
2	学生の就職活動状況を把握している	4
3	資格取得率の向上が図られているか	4
4	中退率低減に向けた学内の連携体制はあるか	4

(5) 学生支援

	評価項目	評価
1	就職・進路支援のための組織体制はあるか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に経済的支援制度利用についての情報提供を行っているか	4
4	学生の生活環境への支援は行われているか	4
5	保護者と適切に連携しているか	4

(6) 教育環境

	評価項目	評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
3	防災に対する体制は整備されているか	4

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	評価
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
3	入試を含め奨学生試験等は、厳正・公平な基準に基づき行われているか	4
4	学納金は妥当なものとなっているか	4

(8) 法令等の遵守

	評価項目	評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4